

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

# 教育いちかわ

市川市教育振興基本計画

～次のような目標を掲げています～

**子どもの姿** 自分や他人を大切に、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる

**家庭・学校 地域の姿** 自らの役割と責任を担いながら、たがいに連携して教育の向上に取り組む家庭・学校・地域を実現する

**市川の教育の姿** 教育環境の整備を図り、質の高い市川の教育を推進する

■発行  
市川市教育委員会  
〒272-0023  
市川市南八幡1-17-15  
TEL 334-1111

■企画編集  
市川市教育センター  
〒272-0015  
市川市鬼高1-1-4  
TEL 320-3335

## 学力向上交流会 第四中 開催

10月27日(金)に、第四中学校・中山小学校を会場として、葛南地区学力向上交流会が開催され、葛南教育事務所管内(船橋市、浦安市、習志野市、八千代市及び市川市)の小・中学校等から教職員が集まりました。この交流会は、「魅力ある授業づくりの達人」など優れた授業実践や、研究実践校における成果等の指導技術や教材を紹介し合い、ちばっ子の学力向上について協議し、教職員の授業力の向上を目指すものです。



第四中学校では、道徳・外国語・理科、中山小学校では国語・理科・外国語・算数の授業が展開され、子供たちの学習意欲を高めたり、思考を深めたりするための工夫が見られました。その後に行われた分科会では、「道徳教育の充実」「主体的・対話的で深い学びの実践」「ICTの活用」などについての協議が行われました。【教育センター】

学力向上交流会は、千葉県教育委員会が「みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」の実現を目指し、「ちばっ子『学力向上』総合プラン」(ファイブ・アクション)として実施している、26事業の中の一つです。この「ちばっ子総合プラン」の中には、家庭学習の充実のために、家庭学習の事例や各学校の取組などが紹介されています。ホームページにも掲載されておりますので、各家庭や学校などで活用してみたいかかですか。

## 176 国の制度改革と市川教育⑧

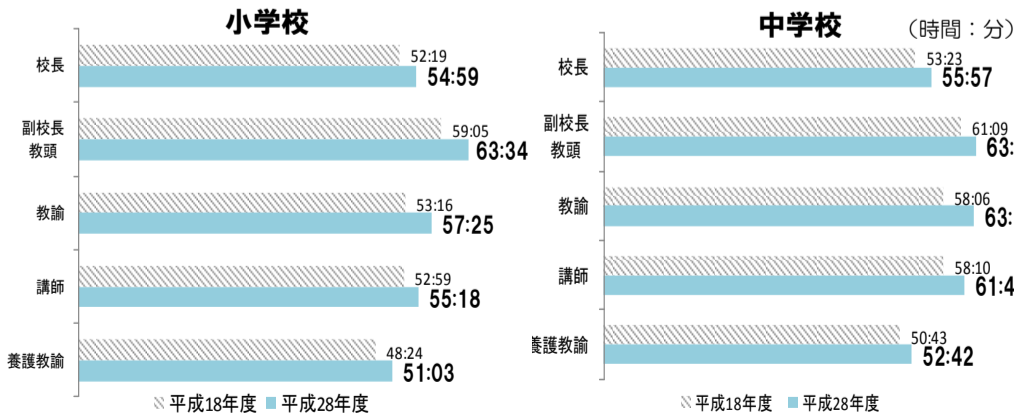
### ～学校における働き方改革と市川市の取組～

#### ◎国の取組

##### ○平成28年度教員勤務実態調査の結果

全国抽出により、小学校は約9千人、中学校は約1万1千人を対象に行った調査結果によると、教員の1週間当たりの総勤務時間は、いずれの職種も10年前と比較して増加しています(図1参照)。教諭で見ると、小学校では57時間25分、中学校では63時間18分となっており、これは1か月の時間外勤務に換算すると、小学校では約70時間、中学校では約93時間に相当します。また、小学校教員の約3割、中学校教員の約6割が「過労死ライン」を超えていることも明らかとなりました。

図1 教員の1週間当たりの学内総勤務時間(持ち帰り時間は含まない)  
〈平成28年度教員勤務実態調査〉



本年4月に公表された「平成28年度教員勤務実態調査」の結果により、教員の長時間勤務の実態が改めて明らかとなりました。国では、中央教育審議会の下に「学校の働き方改革に関する特別部会」を設け、多忙化解消に向けた具体的な議論を進めています。教員勤務実態調査の結果と特別部会における審議の状況、そして市川市の取組を紹介します。

#### ○学校における働き方改革に係る緊急提言(平成29年8月29日)

今回の教員勤務実態調査の結果を受け、国では、中央教育審議会の下に「学校の働き方改革に関する特別部会」を設け、学校が担うべき業務の在り方や教職員と専門スタッフとの役割分担等について具体的な議論が進められています。そして、去る8月29日には、「今できることは直ちに行う」という認識の下、勤務時間短縮に向けた具体的かつ実効性のある取組を早急に進めるため、「緊急提言」が取りまとめられました。

#### ＜緊急提言の概要＞

1. 校長及び教育委員会は学校において「勤務時間」を意識した働き方を進めること
2. 全ての教育関係者が学校・教職員の業務改善の取組を強く推進していくこと
3. 国として持続可能な勤務環境整備のための支援を充実させること

勤務時間の客観的な把握、留守番電話の設置、部活動の休養日の設定、長期休暇期間における学校閉庁日の設定 など

時間外勤務の削減に向けた業務改善方針・計画の策定、統合型校務支援システムの導入促進、学校に対して行う調査等の精選、給食費の公会計化 など

学校業務改善アドバイザーの派遣、教員の事務作業等をサポートするスタッフや部活動指導員等の配置促進、小学校専科教員や中学校生徒指導担当教員の充実 など

#### ◎市川市の取組

市川市教育委員会では、平成25年度に「多忙化解消検討委員会」を設置し、学校の多忙化解消に向けた具体的な対応策について検討してきました。これまでも調査の精選等に取り組んできましたが、今年度から、ノー残業デー・ノー部活タイムを本格的に導入するとともに、国の学校業務改善アドバイザー派遣の指定を受け、実証研究も進めています。また、このほか、多忙化の解消にもつなげる統合型校務支援システムの導入や部活動等地域指導者の配置も進めてきたところです。教育委員会としては、緊急提言に掲げられているその他の方策についても検討を行い、教員が子供と向き合う時間を確保できるよう、今後とも学校の多忙化解消に向けた取組を推進してまいります。

【教育次長 松下 大海】

# 南行徳幼稚園 ～読み聞かせ交流会～



9月11日(月)、南行徳幼稚園では年長組園児たちを対象に、地域の方による、絵本の「読み聞かせ」が行なわれました。この日は「ねこざかな」のシリーズが3冊と、「おにじゃないよおにぎりだよ」「きみはほんとうにすてきだね」の合計5冊の絵本でした。読み聞かせが始まる

と園児たちは静かに聞き入り、1冊目の「ねこざかな」では、読み聞かせの方と一緒に歌う微笑ましい姿が見られました。最後の「きみはほんとうにすてきだね」の本では、恐竜同士の友情の深さに感動したのでしょうか、園児の中には、涙を拭う姿も見られ、胸の熱くなる光景でした。

普段は幼稚園の先生や家族による読み聞かせですが、まったく違う方による読み聞かせは園児たちにとって、新鮮で感動がいっぱいのようにです。本から学ぶ「興味・関心」や「感動」をたくさん経験するために、多くの本を読んでほしいと願うひと時でした。【就学支援課】

## 新教育委員紹介

大高究氏が、7月より教育委員に就任されました。大高委員は現在、産婦人科の医師として市内に病院を開業し、ご活躍されております。

教育委員就任にあたり、「産科医として、赤ちゃんの誕生に立ち会うたびに大きな喜びを感じます。この子たちが、伝統と歴史ある文化都市市川で、心身共に健やかに成長されるよう、微力ながらお手伝いしていきたいと思っております」と、抱負を述べられました。



【教育センター】

## 平成29年度 地方教育行政功労者表彰



平成14年度より、市川市教育委員としてご活躍されている五十嵐美沙子氏が、10月13日(金)文部科学大臣より、平成29年度地方教育行政功労者として表彰されました。これは、地方教育行政において、その功労が特に顕著な教育委員に対して贈られます。

ご受章、誠にありがとうございます。

【教育センター】

## 健康教育講演会



8月29日(火)、グリーンスタジオにて、教職員や保護者の皆さんを対象にした、健康教育講演会が行われました。管理栄養士の河谷彰子先生に、「トップアスリートに学ぶ生活習慣」という演題で、講演をしていただきました。先生は、日本ラグビーフットボール協会セブンズアカデミー栄養アドバイザー、慶応大学非常勤講師、さくら整形外科クリニック管理栄養士など幅広く活躍されています。先生のご経験から、トップアスリートの栄養管理や生活習慣をもとに、小・中学生はもちろん、私たち大人にとっても健康管理に役立つ貴重なお話を伺うことができました。

講演会に参加された、教職員や保護者の皆さんからは、「トップアスリートの食事が特別なものでなく、ごはん・おかず・野菜の基本的な食事のスタイルだった事に驚きました」「朝食・睡眠・コミュニケーションの大切さを改めて学びました」「学校の子供たちはもちろん、自分自身や家族の生活習慣を見直し、少しずつ改善していきたいと思っております」といった感想が寄せられました。

講演会で学んだ事を、各学校での子供たちへの食育につなげ、また、自身の生活習慣に取り入れるなど、有効に活用していただきたいと思っております。【保健体育課】

## 市川市児童生徒科学展

### 宇宙部門 新設!

9月9日(土)、10日(日)、市川市児童生徒科学展が、今年も千葉県立現代産業科学館で開催され、2日間で3,700名を超えるたくさんの方々にご来場いただきました。

今年度は、市川市出身の宇宙飛行士金井宣茂氏が誕生するのを記念し、宇宙部門を新設すると、90点もの出品があり、宇宙に対して、興味や夢を持っている子供たちがたくさんいることを改めて感じました。

各学校からの出品作品は、科学論文353点、標本82点、科学工夫作品138点となり、宇宙部門と合わせると計663点にのぼります。そのうち84点が、見事



入賞作品となりました。さらに、入賞作品のうち32点は、10月14日(土)、15日(日)に千葉県総合教育センターで行われた県の科学作品展に出品されました。

今回、作品を出品した子供たちの中からも、将来金井さんに続く宇宙飛行士が誕生するかもしれません。科学する心や、自然を探究する心に一層磨きをかけ、さまざまなことに挑戦する人に育っていくことを期待しています。

【指導課】

## 教育委員交流会

教育委員会では、子供たちや保護者、教職員の意向を把握し、基本計画の策定及び改定に反映させるため、教育委員と子供たちや保護者、教職員との交流会を行っています。今年度は9月から2月にかけて14校で実施されます。

【教育センター】

### 福栄小 9/4

田中教育長と平田(信)委員が、交流仲間委員とあいさつ運動について、意見交流を行いました。よりよいあいさつ運動の実現に向けて、子供たちが活発に話し合う姿に感心されていました。



### 新井小 9/14

五十嵐委員と平田(信)委員が、6年生の各学級を回って、国語や算数、理科の授業を参観されました。その後の給食交流では、学校の様子や行事についての会話が弾んでいました。

### 柏井小 10/4

代表委員が年間活動予定やあいさつ運動、ゲーム集会の取組について発表しました。参加された平田(史)委員より、「相手に優しい言葉をかけたり、笑顔で接したりする活動を今後も続けてください」と、児童へのお話がありました。



農業体験活動は、稲作や野菜作りを通じて、自然や人のふれあい、勤労と収穫の喜びを体験し、心豊かな子供たちを育てることを目的としています。農業・教員経験者等で構成されている「市川米っ人くらぶ」に業務を委託し、平成13年から小川再生親子ふれあい農園内で行われている事業です。

### 農業体験活動 今年も収穫しました!



稲作では、水田にて「代掻き」「田植え」「はぜ作り」「稲刈り」「脱穀」までの作業体験、野菜作りでは小松菜、かぼちゃ、すいか、じゃがいも、さつまいも等の作物を植え付けから収穫に至るまでの作業体験を、年15回程度実施しています。さらに、農園内の環境や生態系を学ぶため、「昆虫教室」等の野外学習を作業前に実施する活動日もあります。

参加した子供や保護者の感想には、農業・稲作体験を通じた自然とのふれあいや、作物への感謝の気持ち、収穫までにかかわった多くの方々への感謝の気持ちなどが綴られています。また、教科書を読むだけでは学習できないことを親子で学ばせてもらったという声も寄せられています。

【青少年育成課】



### 学習支援クラブ

地域と学校が一体となり子供たちを育む「学習支援クラブ」。今回は、星空観賞会についてご紹介します。

多くの小学校では、4年生の宿泊学習(グリーンスクール)に合わせて、天体に詳しい専門家を学校に招き、夏の夜空の星空観賞会を取り入れています。

今回取材した妙典小学校では、宿泊学習当日、星空の下で星座早見盤を使い、夏の大三角を発見したり、大きな天体望遠鏡で夜空をのぞいたりしました。天気にも恵まれ、普段なかなか目にするのできない、月の表面のクレーターや土星の輪も見え、歓声がわき上がりまし

た。子供たちからは「たくさんの星がきれいでした。北斗七星やベガ、アルタイル、デネブが見えました」「望遠鏡で土星が見られて楽しかったです」「望遠鏡を使って満月を見たら、ポコポコになっていて、びっくりしました」などの感想がありました。

子供たちは、専門家の説明と自然の中での体験活動を通して、市川市内でもこんなに鮮明に星空が見えることを実感し、天体への関心と自然が多く残る市川市への愛着が芽生えたことと思います。

【指導課】



### 自然の中でキャンプ!

#### ～わんぱくセミナー「わんぱく冒険キャンプ」～

「わんぱくセミナー」は、小学校5・6年生を対象とし、遊びや野外活動を中心に集団行動や集団生活の基本を学ぶ初級講座です。

8月25日(金)～27日(日)にいちかわ市民キャンプ場にて、「わんぱく冒険キャンプ」(1泊2日、2回実施)を開催しました。

野外炊事では自分の役割を決め、仲間と声を掛け合い、協力しながら、カレーやカートンドッグを作りました。キャンプファイヤーでは、燃え盛る火の前で輪になり、楽しく歌ったり踊ったりした後に、テントに泊まります。家とは違い、電灯がなく真っ暗の中、仲間と一緒に夜を過ごしました。

このキャンプを通じて、子供たちの表情が少したくましくなったように見えました。自然の中で、みんなと頑張ったことや楽しかったことが、夏休みの出来事として、心に残ったと思います。

【青少年育成課】



### 家庭教育学級 ～指導派遣講座～

家庭教育学級では、各学級からの依頼を受けて、家庭教育指導員による指導員派遣講座を行っています。

今回は、9月21日(木)に第五中学校で行われた「子供の金銭感覚と子供同士の人間関係」をテーマにした講座の様子を紹介します。前半は、グループを作って「すごろくトーク」を行いました。テーマに合わせて作成したすごろくシートを使用し、止まった所に書かれた題目について情報交換や悩み相談などを行いながら、コミュニケーションを深めました。

後半は、子供のお小遣いや友人関係などについて、具体的な事例も交えながら家庭教育指導員の菅原先生が講演を行いました。参加者からは、「先生の話は分かりやすく心に



響いた」「今知りたいことを知ることができてよかった。もっと話を聞きたかった」「すごろくトークで色々な家庭の様子を聞いて参考になった」「お母さん同士で話ができ楽しかった」など大変好評でした。

この講座では、各学級の要望に応じて様々なテーマでの講演や参加者同士がコミュニケーションを深められるプログラムを用意しています。ぜひ、参加してみてください。

【学校地域連携推進課】

### 平成29年度全国学力・学習状況調査の市川市の結果

全国学力・学習状況調査が、全国の小学校6年生と中学校3年生(義務教育学校6・9年生を含む)を対象として4月18日(火)に実施されました。

国語AとB、算数・数学AとBの正答率を全国と比較すると、市川市の児童生徒は概ね同等かそれを上回る結果となりました(表1参照)。

小・中学校ともに漢字の読みや与えられた式の解を求める基礎的な問題の正答率は高く、児童生徒に知識が定着している様子が見られます。一方で活用の面では、自分で式を立てたり、式の意味を考えたりする力に課題があります。また、複数の資料から必要な情報を取り出し、既習の知識や経験と関連付け、表現するなどの力にも課題がありました。これらは、全国的な傾向と一致します。

質問紙調査から、「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表した」と「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた」という質問に対して肯定的な回答をした児童生徒ほど、平均正答率が高い傾向が見られます。

教育委員会としては、今後も「主体的・対話的で深い学びの視点」による授業改善のいっそうの推進に取り組んでいきたいと考えます。

結果の分析は、市川市教育委員会のホームページに掲載してありますので、ご覧ください。【指導課】

		市川市	千葉県	全国
小6	国語A	76	75	74.8
	国語B	60	57	57.5
中3	国語A	77	76	77.4
	国語B	73	72	72.2
小6	算数A	79	77	78.6
	算数B	49	46	45.9
中3	数学A	64	63	64.6
	数学B	48	47	48.1

表1 平成29年度全国学力・学習状況調査教科区別調査結果(平均正答率%)  
A: 主として知識に関する問題  
B: 主として活用に関する問題



### 妙典中 10/6

田中教育長と松下教育次長が、千葉県の道徳映像教材を活用した、1年4組の道徳の授業を参観しました。その後に関われた若年層教員研修会では、初任者である授業者へ、今後の授業づくりや道徳教育について、助言されました。

### 須和田の丘支援学校 10/23

五十嵐委員と平田(史)委員が、高等部の実習報告会を参観しました。「任された仕事を一人で、できました」「今後も丁寧に仕事をしたいです」といった、生徒たちの仕事に対する力強い前向きな言葉に、大きく頷かれていました。



### 宮久保小 10/31

平田(史)委員と大高委員が、4年1組の道徳「いのちのおはなし」の授業を参観しました。「自分のためだけでなく、相手のことを大切にしたい」という、子供たちが考えるいのちの時間の使い方について、感心されていました。

# リーダー活動!

～ジュニアリーダー講習会・  
ヤングカルチャースクール合同トレーニングキャンプ～



地域での活躍を担う青少年リーダー育成を目的としている「ジュニアリーダー講習会」は、中学生を対象にグループワークを行い、野外活動を中心にリーダーシップを向上させることを目的とした中級講座です。

8月2日(水)～4日(金)に千葉県立水郷小見川少年自然の家にて、高校生対象の「ヤングカルチャースクール」の受講生と共に2泊3日の合同トレーニングキャンプを開催しました。このキャンプでは、講師・大学生ボランティアの指導のもと、高校生はリーダーとして班を引率し、中学生は班内で各役割を分担して、野外炊事やグループワークといった活動を行っています。活動を通じて参加者全員が集団生活の意識を持ち、協力しながらリーダー活動を行い、自らの役割とは何かを考え実践し、体験した3日間でした。

様々な成功や失敗を体験したことで、一回り大きく成長しました。今回の体験が、様々な活動に活かされていくことを期待しています。【青少年育成課】

## 平成30年度 市川市立小・中・特別支援学校 「学校評議員候補者」募集

学校教育に関心があり、学校運営について提言や助言をいただける学校評議員候補者を公募しています。各学校より、公募による学校評議員の推薦依頼が教育委員会に寄せられた場合に限り、候補者(登録者)をその学校に紹介することとなります。

- ◆出願資格 学校教育に関心のある方で、成人であれば年齢職業不問。
  - ◆募集人員 若干名
  - ◆登録手続き 履歴書及びレポートの提出
  - ◆募集期間 12月8日(金)まで
- 詳しいことは、下記にお問い合わせください。  
義務教育課 教職員班 (TEL: 383-9261)

## 歴史博物館企画展「発見 体験 昔の暮らし」

期間: 開催中～2月18日(日)  
※学校団体のご利用は2月9日まで

時間: 9:00～16:30

休館日: 月曜日(月曜日が祝日の場合は、火曜日)  
年末年始(12月28日～1月4日)

場所: 市川歴史博物館(堀之内2-27-1)  
北総線「北国分駅」から徒歩10分程度。  
駐車場もあります。

問い合わせ: 歴史博物館  
(TEL: 373-6351)



「銀河鉄道999」など、宇宙を舞台にした人気作品を数多く描き、公益財団法人日本宇宙少年団理事長として、未来を担う青少年に夢や情熱を伝えている、松本零士氏の講演会が開催されます。

## 松本零士氏講演会 「宇宙講演会 ～宇宙への夢に挑み続ける～」

講師 松本零士氏(漫画家、公益財団法人日本宇宙少年団理事長)  
日時 平成30年1月27日(土) 12時開場 13時開演(予定)  
会場 市川市文化会館 大ホール  
定員 1,500名  
申込方法 参加ご希望の方は、往復はがきに参加人数と代表者の電話番号及び①～③(はがき1枚4人まで)の内容を参加者全員分明記の上、ご応募ください。①氏名 ②年齢 ③住所  
※車椅子で来場の方、聴覚障害のある方は明記してください。  
※返信面には、応募者の住所・氏名のみを明記してください。

締切 12月15日(金) ※消印有効  
※定員を超えた場合は抽選  
(抽選結果と入場券は12月下旬発送予定)

宛先 〒272-8501 青少年育成課「宇宙講演会係」※住所不要  
問い合わせ 青少年育成課 (TEL: 383-9419)



## 学校支援コーディネーターの活動

### 学校支援コーディネーターとは?

学校支援コーディネーター(以下、CN)とは、地域と学校のパイプ役として、地域学校協働活動をする際、学校のニーズに応じて地域ボランティアを確保し連絡調整を担う、教育委員会から委嘱された地域の方々です。

### CNの全校配置を目指しています

現在、市内47校に54名のCNを委嘱し、地域学校協働活動を推進しています。また、今年度から統括コーディネーターを新設し、市内CNへ指導・助言することで活動の活性化を図っています。



### 学校支援コーディネーター交流会

9月28日(木)に、CN交流会を行いました。CNが4人のグループに分かれ、情報交換を実施し、ワールドカフェという話し合いの手法を用いて、短時間でたくさんの情報交換が行えるようにしました。個々の取組について、机上の模造紙に記入しながら説明します。CNの皆様の日々の活動がたくさん聞かれ、時間があっという間に過ぎ、充実した研修となりました。

### 子供は、社会みんなで育てる

子供たちの教育環境を充実させるためには、地域住民等の協力を得て、社会総がかりで教育の実現を図っていくことが重要となっています。地域と学校が一体となって役割分担をしながら、それぞれが主体的に取り組むことで、子供たちへの教育効果が高まるとともに、達成感を味わい、生涯学習社会の創造へつながるのではないのでしょうか。教育委員会としては、これからも、地域とともにある学校づくりを推進していきます。

【学校地域連携推進課】

## れきはくで、タイムスリップ!! 昔のくらしに

小学校3年生社会科「古い道具と昔のくらし」の学習にあわせた企画展「発見 体験 昔のくらし」を、今年度も開催しています。氷冷蔵庫や火鉢など、まだ電化製品が普及する前の道具や、ローラー付洗濯機や黒電話など、今や懐かしさを感じる道具から、昭和の暮らしにタイムスリップ!さらに、蚊帳に入ってみたり、昔の傘をさしてみたりと、一部資料については、実際に体験できる展示となっています。



また、小学校団体向けには、わら草履や、昔のあかりなどの体験プログラムがあり、毎年、30校近い学校にご利用いただいております。小学校の団体利用はもちろん、ご家族でもぜひ、企画展に足を運んでみてはいかがでしょうか。

たくさんの方のご来館をお待ちしています。

【歴史博物館】